

2023年11月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019 年度同月取扱高	2019 年度同月比
海外旅行	21,403,783	7,902,724	270.8%	29,691,580	72.1%
国内旅行	3,932,073	5,176,369	76.0%	4,332,137	90.8%
訪日旅行	823,731	231,470	355.9%	2,475,564	33.3%
合 計	26,159,588	13,310,563	196.5%	36,499,281	71.7%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年度同月比（2018年11月）を記載しております。

■ 海外旅行

韓国が引き続き好調に推移しており、取扱高で2019年度同月比120.2%と牽引しました。また、韓国に次ぐ人気観光地として、台湾が2019年度同月比78.8%の回復をみせました。そして、ハワイ・ミクロネシア方面が2019年度同月比49%と、未だ回復に時間を要している渡航先もみられる一方で、欧州・中近東・アフリカ方面が、2019年度同月比93.5%、北米・中南米方面が87.6%の回復となっており、高単価の渡航先により取扱高が伸長しました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比270.8%、2019年度同月比72.1%の214億378万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019 年度同月比
アジア	73.2%
オセアニア・南太平洋	82.6%
ハワイ・ミクロネシア	49.0%
欧州・中近東・アフリカ	96.2%
北米・中南米	87.6%

商品別	2019 年度同月比
手配旅行	77.1%
企画旅行	64.7%

チャネル別	2019 年度同月比
店舗	59.3%
オンライン	110.1%

■ 国内旅行

前期は、「全国旅行支援」とコロナ禍からの反動による需要増により、2019年度同月比を大幅に上回っていたこともあり、2023年11月においては、前年同月比を下回る取扱高となりました。一方で、鉄道を利用したツアーや、航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」といった、コロナ禍より新たに取り扱いを強化した商材においては、前年同月比、2019年度同月比を上回り、好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比76.0%、2019年度同月比90.8%の39億3,207万円となりました。

■ 訪日旅行

鹿児島県、ベトナム航空と、鹿児島ーベトナム間における双方向のインバウンド観光推進について協定を締結したことにより、鹿児島ーハノイ間2Wayチャーターを計画し、ツアー商品の販売を開始しました。また、訪日外国人旅行者向け観光案内所を、人気観光地の京都にオープンし、観光情報の提供や観光コンテンツの販売など、地域と連携した着地後のサービス強化を図りました。取扱高に関しては、欧米の旅行会社からの団体旅行や、主にヨーロッパのHIS海外現地法人からのFITの受客は順調なものの、中国市場の再開に関しては引き続き回復に時間を要しております。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比355.9%、2019年度同月比33.3%の8億2,373万円となりました。

2023年11月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比196.5%、2019年度同月比71.7%の261億5,958万円となりました。

2023年11月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年度同月取扱高	2019年度同月比
インバウンド	8,940,262	3,975,137	224.9%	12,082,103	74.0%
アウトバウンド	15,994,797	15,458,176	103.5%	6,330,647	252.7%
合 計	24,935,058	19,433,314	128.3%	18,412,250	135.4%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、Merit Travel、Jonview Canada、Red Label Vacations) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2023 年のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年度同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※海外における旅行事業は7月期決算のため、2019 年度は 2018 年 11 月の業績を比較対象としております。

■ 海外インバウンド

HIS 海外現地法人のインバウンド事業においては、タイ法人が日本からのパッケージツアーとホテル・オプションサイトからの受客の回復に加え、チェンマイで開催された灯ろう流しのお祭である「イーベン祭」による需要を取り込み、前年同月比 438.9%となりました。また、モルディブ法人は日本からの受客に加え、トルコからの団体旅行の受客などグローバルマーケットからのインバウンド強化により、前年同月比 209.2%、2019 年度同月比 606.7%と好調に推移しました。カナダ法人の「Jonview Canada (※1)」では、オフシーズンだったものの、ツアー・ホテルを中心にヨーロッパ市場の顧客を獲得し、前年同月比 159.4%、2019 年度同月比 175.4%と海外インバウンド事業の回復に貢献しました。また、主に欧州を中心に展開する「Group MIKI Holdings(※2)」では、日本からのインバウンド需要回復の波をとらえ、前年同月比 187.4%、2019 年度同月比 78.2%と海外インバウンド事業の取扱高を牽引しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 224.9%、2019 年度同月比 74.0%の 89 億 4,026 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

HIS 海外現地法人のアウトバウンド事業では、メキシコ法人が、駐在員に向けたレジャー需要促進のパッケージツアー商品の販売強化を図り、前年同月比 158.5%、2019 年度同月比 124.7%と好調な伸びをみせました。また、MICE 需要の強化を図っているトルコ法人では、クリスマス前の欧州行きの出張需要や、企業のレセプションパーティー開催需要等を取り込み、前年同月比 123.2%、2019 年度同月比 444.0%と HIS 海外現地法人における取扱高を牽引しました。カナダ法人の「Red Label Vacations (※3)」では、ブラックフライデーやサイバーマンデーといったセール時期による需要の高まりを捉え、前年比 102.8%と堅調に推移しました。(2019 年度同月比は連結対象外)

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 103.5%、2019 年度同月比 252.7%の 159 億 9,479 万円となりました。

2023 年 11 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 128.3%、2019 年度同月比 135.4%の 249 億 3,505 万円となりました。

(※1)「Jonview Canada」(連結対象：2017 年 12 月～)：カナダを代表するツアーオペレーターとして、欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開。世界中の旅行業向けの商品やサービスを多数提供し、30 年以上にわたり事業展開する中で、カナダ国内の 2,000 以上を超えるサプライヤーと提携。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

(※2)「Group MIKI Holdings」(連結対象：2017 年 5 月～)：欧州並びに日本を含むアジア各国の 30 都市以上で事業展開するグローバルツアーオペレーター。サプライヤーとの強い信頼関係に基づく確かな仕入と、きめ細やかな手配力・現地を知り尽くした企画力で、世界中の旅行会社の安心・安全・高品質な旅作りを実現。

(※3)「Red Label Vacations」(連結対象：2019 年 3 月～)：カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R 室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177